



2013年12月発行  
 (平成25年12月)  
 千葉県立匝瑳高等学校  
 同窓会事務局  
 〒289-2144 千葉県  
 匝瑳市八日市場イ-1630  
 TEL.0479-72-1541  
 FAX.0479-73-6146  
 代表：渡邊順一



## 28m“射る”青春

弓道近的、その距離28m。

その先には1尺2寸(36cm)の的。

全国の高校生競技者は61,000人。

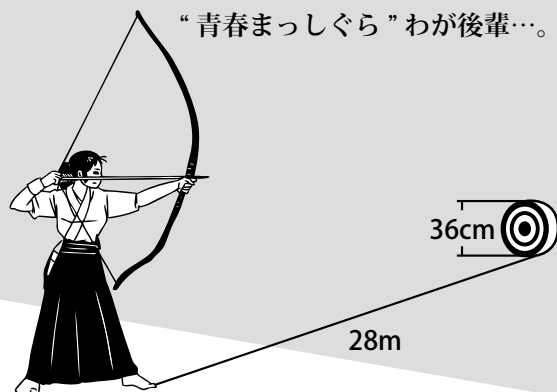
そのほとんどは“匝瑳”の名を知る。

信念は「礼に始まり 礼に終わる」…。

長 新人(ちょうあらと)先生指導のもと、

受け継がれる“強き匝瑳”を胸に秘め

“青春まっしぐら”わが後輩…。



## 伝統貫く弓道部

### 第57回 関東高等学校弓道大会 県予選

(於：千葉県弓道場) 4/28.29

#### 【女子団体】

- ①山崎 愛実 (3E) ②加藤亜紗美 (3E)
  - ③江波戸理恵 (3E) ④宮負 晴香 (2D)
- 36射 26中 優勝 関東大会出場  
 (関東ベスト16)

#### 【男子団体】

- ①菅谷 晟則 (3G) ②押久保良太 (3E)
  - ③岩澤 大地 (3F) ④井上 賢太 (2A)
- 36射 28中 同中競射 9射8中  
 第3位 関東大会出場 ○数字は立番です。



『同窓さふさ』刷新☆毎月更新HP☆検索は『匝瑳高同窓会』

# 平成25年度 定例総会開かれる

## 新会長に渡邊順一さん(高21)

平成25年6月23日、匝瑳高校体育館において、平成25年度定例総会が開催されました。新会長に高21回生の渡邊順一さんを選出したほか、平成24年度の活動報告・決算及び来年に創立90周年記念式典を控えた予算・事業計画などが決定しました。

### 来年に90周年を控えて



渡邊 順一 (高21)

#### 今年準備の年

会員の皆様には、ますますご健勝にて各方面にご活躍のことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。平素は、同窓会の活動にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この度、皆様の熱いご支援により、今年度の同窓会長を務めさせていただくこととなりました。来年に90周年を控えた大事な年です。

そのような中、微力ではありますが、母校同窓会のため、精一杯頑張る所存です。

#### 三本柱を立てて 着実に前進

私の同窓会との関わりは、50周年(23歳)の頃より代表

幹事として参加させていただきました。前回の80周年のときは、PTA会長という親の立場でもありました。

今年度、会長を拝命し、さて何の仕事をしたらよいだろうと考えたとき、まずは90周年期成会に協力し、来年の記念式典などを盛大に挙行できるように努めることだと思いましたが、と同時に、それを実現するには、母体である同窓会の地盤固めをしなくてはならないと思います、かねてより懸案事項でもあったことを取り組んでいこうと、三本の柱を立てさせていただきました。

#### 第一は会報さふさとホームページの充実

まずは、会報誌「同窓さふさ」の件です。発行の度に多額の経費が掛かります。そのため、年一回は全会員に、もう一回は会費納入者のみにお送りしています。これでよい

のか。また、複数会員世帯への合理化方法はないか。編集委員も長い間、先輩にお任せしたままで心苦しく、ホームページを含めて、改善したいことはたくさんあります。

#### 第二は会費の納入 毎年貯金を取崩し

二つ目は、会費の納入問題です。以前より、様々な方法で会費納入を呼び掛けていますが、なかなか増えません。毎年、約260万円の赤字が出ており、このままでは、あと10年ももたない状況です。会費納入のご協力に対する検討もしなければなりません。

#### 第三は各学年から 学年幹事の選出

三つ目は、各学年幹事の問題です。先日も90周年に向けて臨時幹事会が開かれましたが、高26回以降はほとんど連絡できない状態です。これをなんとか、すべての回に幹事を決めて、参加連絡ができるようにしたいものです。

#### 三課題に対応した 検討委員会で協議

課題を協議するため、8月末に三検討委員会を立ち上げました。各委員会での話し合

いも進み、「会報さふさ検討委員会」では、若手の協力者が参加し、新しいアイデアがどんどん出ています。

「会費納入検討委員会」でも、今まで思いつかなかったアイデアが出ています。

「幹事検討委員会」もすでに候補者を絞り、現在交渉中です。年内には、新幹事会が開催できそうです。

また、体育部会も、10月16日に予定したシニアゴルフが台風のため、12月12日に開催予定になっています。

#### 同期の高21回で まとまって活動中

我々、高21回生は大変まとまっています。各クラスに男3名、女2名の幹事がいます。3名、女2名の幹事がいます。会長年度は、通例だと総務部長と体育部長を選出すれば済むのですが、学年内に、総務部会、体育部会、90周年期成会担当部会、事務局を作り、40名のクラス幹事がいづれかの部会に所属しています。高21回生で一丸となって、今年度の大役を果たす覚悟です。皆様の大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成25年度一般会計予算案

自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

Table with 2 columns: Category (収入の部合計, 支出の部合計, 差引残高) and Amount (5,747,316, 5,747,316, 0).

平成24年度一般会計決算書

自平成24年4月1日～至平成25年3月31日

Table with 2 columns: Category (収入の部合計, 支出の部合計, 差引残高) and Amount (5,495,970, 3,317,654, 2,178,316).

1. 収入の部

(▲印:減 単位:円)

Table with 5 columns: Category, Budget, Previous Year, Change, Remarks. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, etc.

1. 収入の部

(▲印:減 単位:円)

Table with 5 columns: Category, Budget, Actual, Change, Remarks. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, etc.

2. 支出の部

(▲印:減 単位:円)

Table with 5 columns: Category, Budget, Previous Year, Change, Remarks. Rows include 会議費, 事務費, 旅費, etc.

2. 支出の部

(▲印:減 単位:円)

Table with 5 columns: Category, Budget, Actual, Change, Remarks. Rows include 会議費, 事務費, 旅費, etc.

財産目録

平成25年3月31日現在

Table with 2 columns: Asset Category (現金, ゆうちょ銀行, etc.) and Amount (327,632, 843,250, etc.).

備考

Table with 2 columns: Asset Category (前期総資産, 当期総資産, 差引差額) and Amount (25,702,572, 24,304,096, 1,398,476).

Large table listing staff members (役員一覧) for Heisei 25, including names, titles, and terms.

※支部推薦の副会長は、支部で変更された時点で変更になります。

# 記念講演 聴者からの投稿

**渡邊会長が総代  
同級生宮司とのコンビ**

今年の記念講演は、いつもと少し違う形で行われました。会員の皆さんなら、知らない人はいないでしょう。あの8月4日、5日に行われる八

## 「郷土の神社と祭り」 八重垣神社宮司 齋藤政勝(高21回)

日市場の「八重垣神社の夏祭り」。その八重垣神社の宮司を高21回生の齋藤政勝君が務めており、また、渡邊会長が神社総代を務めているという

りお話をいただくこととなりました。折しも、今年は伊勢神宮の20年に一度の式年遷宮の年であり、出雲大社の60年に一度の大改修の年に当たります。また、昨年は、「古事記」が編纂されて千三百年を迎えたというところで、母校90年の歩み、匝瑳の歴史を考えるうえでもちょうど良いのではないかと企画させていただきました。

**祭りの歴史や  
国体開会式で出演話**

齋藤宮司から、八重垣神社の祇園祭を中心にした講話をしていただき、中でも、ゆめ半島千葉国体の開会式で郷土芸能として演技披露の報告がありました。

この国体の開会式への出演といえますのは、県からの依頼により、式典前演技として千葉の文化と歴史を表現する

## 平成24年度事業報告

### 本部関係

期日	事業内容	会場
H24. 6.24(日)	定例総会※会長に大川勝美氏(高20)を選出 ※記念講演「素粒子と宇宙」小林富雄氏(高20)	西城館
9.6(土)	母校蔦蔦祭 ガalleryの公開、PTAバザーへの協力	西城館
7.2(木)	第1回文化部会	西城館
7.30(月)	第1回総務部会 部長に多田博夫氏(高20)選出	西城館
9.20(土)	第2回文化部会	西城館
10.18(木)	シニアゴルフ大会	成田ハイツリー
10.31(木)	第2回総務部会	西城館
H25. 2.9(土)	新年幹事会	梅田屋
3.7(木)	同窓会入会式 高65回 322名	体育館
3.8(金)	卒業式 同窓会入会式 定59回 23名	体育館
4.9(火)	入学式 全日制普通科246名 英語科40名 理数科41名 定時制23名	体育館
4.12(金)	母校職員歓送迎会	黄鶴
4.25(木)	第3回総務部会	西城館
5.9(木)	第3回文化部会	西城館
5.23(木)	ゴルフ大会	成田ハイツリー
5.31(木)	幹事会	西城館

### 支部関係

H24. 7.1(土)	光支部 椎名英夫氏(高11)支部長選出	光公民館
7.8(土)	四街道支部 工藤博孝氏(高11)支部長選出	四街道文化センター
7.14(土)	匝瑳支部 齋藤實氏(高20)支部長選出	内山屋
7.21(土)	匝瑳支部 須合陽一郎氏(高22)支部長選出	石毛ドライブイン
8.19(日)	多古支部 勝又俊夫氏(高20)支部長選出	釜屋本店
8.19(日)	野栄支部 林功氏(高19)支部長再任	望洋荘
8.19(日)	干潟支部 菅谷順可氏(高21)支部長選出	嘉儀屋
8.25(土)	旭匠会 堀越正夫氏(高13)支部長再任	旭楼
9.16(日)	匝瑳支部 吉田一郎氏(高17)支部長再任	
H25. 4.13(土)	東京支部総会	アルカディア市ヶ谷
5.19(日)	京葉支部総会	ホテルミラマール
5.25(土)	飯岡支部総会	玉之浦食堂
6.15(土)	横芝支部総会	富士屋
6.14	匝瑳支部総会	吾妻庵

### 会報関係

H25. 7	さふさ46号発行
--------	----------

## 平成25年度事業計画(案)

### 本部関係

期日	事業内容	会場
H25. 6月23日	定例総会	西城館
7月2日	第1回文化部会	西城館
7月26日	第1回総務部会	西城館
7月13日	文化部・蔦蔦祭にGALLERYの公開、PTAバザーへの協力	西城館
11月7日	第2回総務部会	西城館
12月12日	シニアゴルフ大会	富里GC
H26. 1月下旬	第3回総務部会	西城館
2月中旬	新年幹事会	
3月6日	同窓会入会式全日制	体育館
3月7日	卒業式 同窓会入会式定時制	食堂
4月下旬	第4回総務部会 第2回文化部会	西城館
5月下旬	幹事会	西城館
5月下旬	ゴルフ大会	



ため、天皇・皇后両陛下の前で、八重垣神社の祭りを披露することにされたものです。当日は、10町内より氏子約千人、神輿六基を擁して、大型バス二十数台での参加となりました。朝の嵐が演技のときには青空に変わり、全国的にも有名な躍動する神輿とお

囃子の演技を、限られた時間でしたが、元氣よく披露したものです。この取組みは、近年にはない、盛大な取り組みとなりました。

講演の後には  
生のお囃子演奏  
講演の後には、渡邊会長の地元である「仲町囃子連」の

### 八重垣神社の創建と祭り

八重垣神社は、市街の中心に位置し、10町内の総鎮守として人々の崇敬を集めています。

創建は、弘仁三年（812）、物部朝臣匠瑳氏が本地を治めたとき、この地を「美し国」と称え、八雲の神詠を奉祀するために、水沢と葦原であったところに大塚を築き宮を建て、出雲神を奉祝して祈願所とし、「牛頭天

皇宮」と称したと伝えられています。  
御祭神は、素戔鳴尊、事代主命、倉稻魂命の3柱です。  
『八雲たつ い津も 八重垣 妻こ免に』

八重垣 つくる 其の 八重かき我』

この神詠は、日本神話に登場する素戔鳴尊によって詠まれた日本で最初の和歌とされ、八重垣神社の社名は、明治2年の神仏分離令により、この神詠にちなんでつけられました。祭礼の始まりは、「室町時代、享祿3年（1530）6月15日、神輿新造、同年6月20日大祭始まる」とされ、本年度483年になります。

現在の八重垣神社祇園祭は、毎年8月4・5日に行われ、10町内から合わせて20数基の神輿が繰出されます。笛・太鼓の軽快なお囃子に合わせて担がれる神輿は、この地特有のスタイルで見ている者も心躍ります。



「ゆめ半島千葉国体」の開会式で八重垣神社の祇園祭を天皇皇后両陛下の御前で披露した。(平成22年9月25日 千葉マリスタジアム)

皆さんによるお囃子演奏を披露していただきました。  
送り囃子で入場の後、「朝日」、「さくら」、「八重車」、「早バカ〜江戸」などの演目の後、クライマックスは、渡邊会長も祭り半纏（はんでん）姿で登場し、大太鼓を担ぎ、「祭り囃子」が賑やかに演奏されました。この間、ステージの大スクリーンには、夏の祇園祭及び団体開会式での演奏シーンが映し出され、場内には幟旗、ポスターなどが飾られ、お祭りムードを醸し出していました。演奏は長時間にわたり、会場を沸かせました。

## 古里に誕生 地井武男ふれあい記念館



地井さんの思い出。八重垣神社祇園祭 平成23年8月

「おっすす！」気さくに笑顔で母校にお越しいただいた地井武男さん。匝瑳市観光大使として、「匝瑳」の名を全国に伝えていただきました。

そこで、本年7月、地井さんの偉大な功績を多くの皆様に伝えようと、匝瑳市商工会が中心となって、「地井武男ふれあい記念館」をオープンいたしました。

愛称は、地井さんの温もりを感じさせてくれる「ちいちい茶屋」です。八日市場駅から徒歩約7分、地井さんの思い出に触れてみませんか。

所在地 匝瑳市八日市場イ2866・2

千葉銀行八日市場支店前

休館日 毎週月曜日

※月曜日が祝日・休日の場合は翌日の火曜日

開館時間 5月〜10月（10時〜18時）

※11月〜4月は17時

入館料 100円

問合せ 地井武男記念館運営委員会

電話 0479（72）2528

# 創立90周年記念事業募金へ ご協力を!



創立90周年記念事業期成会  
会長 古谷 健一 (高15)

平成26年に創立90周年を迎える母校の記念事業の概要が固まりました。現在、創立90周年記念事業期成会を立ち上げ、事業進展を図っております。なお、予定される事業にかかる会員からの募金目標額は3700万円です。このため、本年7月に全会員に配布させていただきました募金趣意書及び納付書により会員からの募金をお願いしている状況です。

未だ目標額に満たない状況ですので、絶大なるご協力をお願いします。

## 千葉県立匝瑳高等学校創立九十周年記念事業

### 募金趣意書

千葉県立匝瑳高等学校は、大正十三年県立匝瑳中学校として創立以来、東総地区における有為の人材育成の場となり、平成二十六年には創立九十周年を迎えることとなりました。

この間、卒業生は二万七千余名におよび広く国の内外において活躍し社会に貢献していることは、多年にわたる県当局や関係市町村のご協力とご支援は申すまでもなく、地域各界で活躍中の同窓生および関係各位のご尽力の賜であり、深く敬意と感謝を捧げるものであります。

千葉県立匝瑳高等学校においては、全日制の課程普通科・理数科・英語科、及び定時制の課程普通科の、それぞれの特徴を生かした教育内容の充実を図るとともに、これまで教育環境については計画的な整備に力を注ぎ、先輩諸氏が築かれた伝統と名誉を受け継ぐべく日々の教育活動に励んでおります。

このたび、母校が創立九十周年という記念すべき年を迎えるにあたり、さらなる発展を期するため、関係団体（同窓会・PTA）では創立九十周年記念事業期成会を結成し、記念式典の挙行、及び記念誌の発行、教育環境の整備並びに教育振興助成事業等の記念事業を計画いたしました。

つきましては、諸出費多端の折誠に存じますが、記念事業達成の趣旨をおくみとりいただき、左記による募金活動に格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十五年八月吉日

千葉県立匝瑳高等学校創立九十周年記念事業期成会

会長 古谷 健一

副会長（同窓会長） 渡邊 順一

副会長（PTA会長） 熱田 武

募金委員長 栗田 壮一

記念事業計画の概要

- ① 記念式典の挙行及び記念誌の発行
- ② 教育環境の整備
  - (ア) 中庭の整備
  - (イ) 視聴覚室の整備等
- ③ 教育振興助成事業の実施
  - (ア) 学力向上対策助成事業等

記念事業募金要項

- ① 募金目標額 三千七百万円 (同窓会・PTA・一般篤志寄付等)
- ② 募金の種別
  - (ア) 同窓会々員を対象とするもの。(二口五千元) ※なるべく多数口のご協力をお願いいたします。
  - (イ) PTA会員・一般篤志寄付等を対象とするもの。

※口数によらずご協力をお願いいたします。

- ③ 募金期間
  - 第1期 平成二十五年八月から十二月まで
  - 第2期 平成二十六年一月から三月まで

④ 募金方法

(ア) 原則として郵便振替で、所定の振込用紙に必要事項をご記入の上ご送金ください。この場合はそこで発行する領収書をもって本会の領収書にかえさせていただきます。

(イ) ア以外の場合は創立九十周年記念事業期成会事務局(匝瑳高校内)へ募金申込書を添えて納入してください。この場合の領収書は、期成会から発行いたします。

問い合わせ先

千二八九・二一四四  
千葉県匝瑳市八日市場イ  
一六三〇  
千葉県立匝瑳高等学校内

創立九十周年記念事業期成会  
事務局募金係  
電話〇四七九・七二・一五四一  
FAX〇四七九・七三・六一四六

※三口一万五千元以上の募金  
にご協力いただいた方には、記念誌を贈呈申し上げます。

千葉県立匝瑳高等学校創立90周年記念事業期成会役員

平成25年11月現在

役員	団体名	同 窓 会	P T A	学 校	顧 問	
会 長 (1)		古谷 健一 (高15) (平成19年度会長)				
副会長 (若干名)		岩井 和徳 (高19) 渡邊 順一 (高21) 大川 勝美 (高20) 宇野 健一 (高22)	会 長 加瀬一四郎 (H24) 熱田 武 (H25)	校 長 布留川 厚	同窓会参与 土川 峰仙 (高12) 荒井 淳一 (高13) 根本 勝弘 (高14) 鈴木 勝彦 (高18)	
理 事 (若干名)		江波戸正雄 (匝瑳会) 玉澤 宏 (H19 総務部長) 堀越 正夫 (旭匠会) 藤城 吉董 (H20 総務部長) 石毛 理 (銚匠会) 栗田 壮一 (H21 総務部長) 上野 敬蔵 (横匠会) 大塚 栄一 (H22 総務部長) 勝又 俊夫 (多古支部) 佐瀬喜以知 (H23 総務部長) 土岐 四郎 (京葉支部) 多田 博夫 (H24 総務部長) 宮崎 晴可 (匝東会) 岩井 房子 (H25 総務部長) 菅谷 順司 (干潟支部) 川口 克己 (高15) 林 功 (野栄支部) 熱田 照人 (高15) 水野 征夫 (飯岡支部) 志賀 正義 (高22) 椎名 英夫 (光支部) 加瀬 操 (海上支部) 工藤 博孝 (四街道支部) 熱田 康雄 (野栄支部) 多田 義夫 (干潟支部)	副 会 長 押田 昭裕 (H24) 高根 浩司 (H24) 石田健一郎 (H24) 湯口 勇 (H24) 高橋 正彦 (H25) 萩原 優 (H25) 萩原 信寛 (H25) 椎名 満 (H25) 会 計 長 萩谷 幸弘 (H25) 企画委員長 林 鉄也 (H24) 川口 重則 (H25)	全・教頭 加瀬 健司 全・教頭 伊藤 憲 定・教頭 渡邊 正明 事務長 高木 幸男	歴代校長 山崎 忠義 (高15) 宇井 美樹 (高19) 杉浦 雅美 鈴木 尚美	
監 事 (若干名)		同窓会幹事	P T A 会 計 監 査 委 員 椎名 利臣 平山佐知子	校内事務局 (校長委嘱) ◎鎌形 豊 (高25) ○鈴木 準一 ○林 潤 (高38) 加瀬 健司 (高30) 伊藤 憲 渡邊 正明 高木 幸男 (高24) 岩瀬 道治 (高30) 宇野 典男 (高30) 青澤 晴美 (高32)	特別委員 (会長委嘱) 70周年期成会長 太田 昭吉 (中17) 80周年期成会長 中村 九蔵 (高8)	
委 員 会	総 務	◎多田 博夫 (高20) 佐瀬喜以知 (高19) 江波戸達郎 (高20) 川口 克己 (高15) 上野 敬蔵 (高21) 岩井 房子 (高21)	加瀬一四郎 (高29) 押田 昭裕 (高29)		記念誌編集委員会 (校長委嘱) ◎大木 宏之 (高27) ○鎌形 豊 (高25) 前田 康晴 (高32) 平山 淳一 (高32) 青澤 晴美 (高32) 高岡 和子 (高32) 木内 俊夫 (高33) 滑川 真一 (高38) 菅生 隆 松浦茉莉奈 鶴澤 俊男 (高26)	県議会議員 (習志野市) 佐藤 正己 (高11) (船橋市) 堀江 はつ (高14) (匝瑳市) 宇野 裕 (高28) 匝瑳市長 太田 安規 (高14)
	教 育 環 境 整 備	◎藤城 吉董 (高16) 林 功 (高19) 石毛 理 (高20)	椎名 満 (高27) 林 鉄也			
	会 計	◎志賀 正義 (高22) 大川 浩一 (高22) 石井 秀光 (高22) 小田島和枝 (高22) 大木 勉 (高22)	高橋 正彦 石田健一郎			
募 金	◎栗田 壮一 (高17) 工藤 博孝 (高11) 堀越 正夫 (高13) 大塚 栄一 (高18) 玉澤 宏 (高15) 菅谷 順司 (高21) 勝又 俊夫 (高20) 宮崎 晴可 (高15) 熱田 照人 (高15) 加瀬 操 (高17) 水野 征夫 (高14) 椎名 英夫 (高11)		高根 浩司 (高35) 熱田 武 湯口 勇			

# 支部の話題

同窓会の各支部活動は、それぞれ特色ある活動を行っています。

支部総会へは、会長をはじめ校長、事務局長等、都合のつく範囲で参加しております。特徴ある支部活動をさふさ編集部にお寄せください。

## 匝東会総会 (東京支部)

平成25年4月13日、アルカディア市ヶ谷(私学会館)において、第15回匝東会総会が106名の参加を得て盛大に行われた。

阿部四郎事務局長(高17回)の司会により、来賓の紹介に続き、宮崎晴可会長(高15回)からアベノミックスに因んだ経済情勢を交え、創立90周年記念事業の募金依頼の挨拶があった。続いて大川勝美同窓会長(高20回)から募金目標達成の決意と協力依頼、布留川厚校長からは新任の自己紹介を兼ねたご挨拶を頂いた。引き続き第1部総会に先立ち、亡くなられた会員のご冥

福を祈り黙祷を捧げた。その後宮崎会長の議事進行により、副会長と会計の選任、活動報告並びに会計及び監査報告が満場一致で承認された。

第2部講演会は、外務省大臣官房・越川和彦官房長(高27回)から、「同時多発テロ、ニューヨークの現場から」と題して講演を頂いた。なぜ外交官を目指したのか、1年間休学してシベリア鉄道から欧州を放浪した話、外交の現場から外務省、大使館、領事館の仕組みなど、分かり易く興味深い話を拝聴した。ニューヨーク総領事館勤務の時、同時多発テロに遭遇した体験談など、国民性や文化、宗教の違いを話された。素晴らしい経歴と高い志に敬服すると

もに、もっと若い同窓に聞かせたいと感じた次第です。

第3部懇親会は、佐々木まさ子(高16回)森幸男(高17回)前林和彦(高26回)三氏の進行により執り行われた。例年のかくしゃくとして今なお現役で活躍されている木川統一郎氏(中14回)の気合の入った乾杯の音頭に代わり、それに勝るとも劣らぬ大田昭吉氏(中17回)の元気な乾杯の音

頭で、懇親の宴が始まった。

同窓各位からお寄せ頂いた品々の創立90周年記念チャリティ・オークションが行われ、多大な協賛を頂いた。また、募金受付コーナーを設け、沢山の寄付を頂戴した。心から御礼申し上げます。その後、外れくじ無しのお楽しみ抽選会で大いに盛り上がった。

最後に、元合唱部の音頭で、匝東中学校歌「此処東海

の道の涯」と匝東高校歌「桜花咲き散るかげに」を全員で腹の底から高歌吟唱し、母校の益々の発展と同窓各位のご健勝を祈念し、再会を約しながら散会した。

匝東会は老人クラブではないので、もっと若手の同窓や女性が連れだつて気軽に参加されることを期待しております。

須郷隆雄(高17回)



第15回匝東会総会の様子 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

### 各地区支部総会の状況

- 8月24日 光支部 椎名英夫(高11) 支部長再任 町民会館
- 7月7日 四街道支部 工藤博孝(高11) 支部長再任 四街道文化センター
- 8月25日 干潟支部 多田義夫(高22) 支部長選出 嘉儀屋
- 8月18日 野栄支部 熱田康雄(高21) 支部長選出 望洋荘
- 8月24日 旭匝会 堀越正夫(高13) 支部長再任 旭樓海上支部
- 7月13日 匝陵会豊和支部 須合陽一郎(高22) 支部長再任 石毛ドライブイン
- 7月14日 匝陵会匝磋支部 鈴木高次(定・夜10) 支部長選出 内山屋
- 9月23日 匝陵会吉田支部 齊藤修勇(高18) 紫季
- [10月以降の予定] 匝陵会豊栄支部 匝陵会拡大幹事会 東京支部 銚匝会 京葉支部 飯岡支部 横芝支部



# 横匠会総会

「フレ〜☆フレ〜☆匠  
瑳」。

校歌・旧校歌の合唱後、渡  
邊順一同窓会長のエールがこ

だます。こは、若さと元  
氣を合言葉に活動する『横匠  
会総会』。

佐藤晴彦横芝光町長、久本  
修副町長（高38回）をゲスト  
に迎え、高2回向後寛顧問を  
筆頭に高21回上野敬蔵会長以

下高40回高宮芳弘君まで25  
名が高らかな母校のエールに  
酔いしれました。

横匠会は、旧横芝町の卒業  
生の同窓会で、毎年、横芝中  
学校から匠瑳高校へ進学した  
生徒に図書券を贈る事業を行  
なっています。25年度は19名  
の生徒へ林潤同窓会事務局長  
（高38回）を通じて贈呈され  
ました。

同窓会よりご参加いただき  
ました大川勝美会長（当時）、  
渡邊順一会長（当時副会長）  
に感謝申し上げます。

## 四街道支部総会

七月七日（日）十時三十分  
から四街道市文化センターに  
おいて、四街道支部同窓会第  
十五回総会が開催されまし  
た。

母校本部から渡邊順一會  
長（高二十一回）、林潤（高  
三十八回）事務局長、母校か  
ら布留川厚校長が出席され、  
支部会員二十五名参加のもと  
に同窓会及び母校の近況につ  
いて報告がありました。

総会では、工藤博孝議長の

もとに、支部の活動報告並び  
に新年度事業計画の報告等が  
承認され、会長には工藤博孝  
氏（高十一回）が再任、副会  
長に宮田省一氏（高十三回）、  
伊橋宏氏（高十四回）が再任  
承認されました。

総会終了後、講演会を開催、  
石田實先生（高二回）に「私  
の健康法」と題して講演して  
いただきました。

先生のプロフィールは、昭  
和二十七年千葉大学二年課程  
卒業、初任校が匠瑳高等学校  
で昭和二十七年から二十九年  
まで、昭和三十一年千葉大学  
四年課程卒業、昭和三十一年  
から五十七年まで高校教諭在  
任、昭和五十八年から六十二  
年まで高等学校教頭在任、昭  
和六十三年から平成四年三月  
まで県立柏北高等学校校長を  
歴任して退職され、平成四年  
四月から、いきいき大学に於  
いて生涯学習に従事、その運  
営にあたってきました。

講演の内容は、健康寿命と  
は「日常的に介護を必要とし  
ないで、自立した生活ができ  
る生存期間」、この同窓会に  
出席された方は合格ですと話  
されました。健康維持のた

め、連日夜間二十時から  
二十一時まで、五キロメート  
ルのウォーキング又はジョギ  
ングを実施、千葉県マスター  
ズ陸上選手権に参加を目標と  
しています。このため、バラ  
ンスのとれた食事をとること  
に気を使い、晩酌は日本酒  
百八ミリリットルで休肝日  
を週一回行っています。健康  
維持することは、高いハード  
ル「面倒だ」「ストレスになる」  
「時間的ゆとりがない」など  
と、立ち塞がりますので、こ  
れを飛び越えてこそ真の幸福  
を勝ち取ることができると結  
びました。今だから実行に移  
さねばという思いの講演内容  
でした。

続いて伊橋宏氏（高十四回）  
の絶妙な司会のもとに、懇親  
会が行われ、それぞれ出席者  
全員の近況報告などに話も弾  
み、最後に石田實氏（高二回）  
は、腹の底から大きな声が出  
せるのは健康の秘訣と、詩吟  
と民謡を披露されました。

懇親会閉めの前に、匠瑳中  
学校歌及び匠瑳高等学校歌を  
みなさんとともに合唱し、会  
も和やかなうちに終了しまし  
た。



横匠会総会に集まった面々（平成25年6月15日 於：富士屋）

# 同期の話題

最近、「此処東海の道の涯々…」、「桜花咲き散るかげにわが春をく…」を着に恩師を招いての同窓会が聞こえてきます。

今回の主役は、中18回、高8回、高9回、高10回C組、高12回B組、高22回の学友の話題が寄せられました。さふさの原稿は13文字32行が基本となります。HPでの紹介も今後はできませんので、どしどしお寄せください。

## ▲10回目を迎えた雄飛会▼

### — 思い起す特攻の話 —

小林 晃(中18)

二年間休んだ雄飛会、再び元気の仲間から声が掛かり、十回目の集いを是非との事で、体調必ずしも万全でない角田君にご苦労を引き受けて頂いた。奥様も大変だったと思います。

平成二十四年十月二十一日、場所は例年通り太平洋一望の国民宿舎「サンライズ九十九里」、匝中十八回生雄飛会御一行様の看板が目映い。定刻には全員笑顔で集合完了。当日の夕焼け空は素晴

らしいの一語。三階の窓外に広がる東金市街を包む山の端に、真ん丸な夕日が沈んで行く。どつと喊声上がる。十回目にして始めて気の付いたホテルからの夕景。ちなみに、翌日大浴場からの「日の出」も雲に邪魔されず最高だった。

今年の参加者は三組の夫婦組を含め十三名で前回の半数足らずだが、宴会は盛り上がり、カラオケの歌声を掻き消す程の談論風発…。

こうして屈託なく時を過ごす老体の面々だが、六十八年前の昭和二十年六月頃は、

予科練組の全員が特攻隊要員として必死と背中合わせの水の中特攻訓練の真最中。その一例を平山光典君(匝中十九回生)の訓練行動を通して記します。

彼は高等科一年で匝中へ入学したので、私とは中村小学校(現多古町)では同級で家も近く、物心ついた頃からの遊び仲間であった。

彼の予科練入隊は昭和十九年七月十日であるが、翌年二月頃特攻編入後は、あの特攻艇「海龍(二人乗り)」の厳しい訓練をこなし、広島海兵団、山口県柳井の特攻基地での最後の訓練を受けたが、「俺は鈍かったが、優秀な連中は油壺(神奈川)の基地に集結して出撃命令を待っていた」との話であった。

平山君は同時入隊の既に故人になられた澤田睦夫君、高野反次郎君は記憶にあったが、全く同じ訓練を辿っていた宮崎三郎君・永塚(菅谷)正男君の事は全く知らない。他隊との連絡は全くなかったそうである。

八年前頃になるが、終戦記念日近くの読売新聞に、遠洋

漁業からの無電で、敵の大艦隊が九十九里方面に向かっていくとの一報が入った。それ、潜水艦に積み込まれた飛龍が出撃したが、途中で夜光虫の大群の見誤りと判明し引き返した、との記事が載りました

が、その中に小佐野一等飛行兵曹という名があり、彼こそ平山君と共に訓練を受け、最初に油壺の基地に出発した十数名の中の一人であり、「再び会えぬ」からと盛大に送り出した記憶が甦ったそうです。彼は戦後、親にも奥さんにも自分が特攻隊員であったとは一言も話さなかったそうです。

後日談ですが、平山君は後に北海道教育庁実習船管理局の技術指導員として、ハワイの遠洋航海にも通信関係責任者として数多く乗船して活躍し、あの小佐野氏も新宿署の署員として頑張っており、お互いによく連絡を取り合っているとの事です。

### — 私の歩んだ道 — 土手 恒司(中18)

雄飛会も第十回を数える記念すべき時に至りました。

今回執筆依頼を受けました。私の場合には雄飛会へは途中から参加させていただいた経緯もありますので、軍歴を持たなかった十八回卒業生も含めての所感文とさせていただきます。

昭和十六年四月に銚子の片田舎、長塚町(四年生の後半学徒勤労働員先として派遣された先が、横浜ヨット長塚工場であって、通勤の行き帰り我が家を休憩地とする事になりました)より入学した関係もあり、人生の中で一番勉強した時期ではなかったかと思われます。

自分の希望する事は努力しだいで果せると思うようになり、外国へ是非一度行ってみたいくなりました。その為の第一歩が海兵への合格でした。併し入校四カ月半で終戦を迎えてしまいました。そこで次のステップとして比較的海外勤務の多い商社勤めを考え入社することができました。







高12回B組同窓会出席者たち

いて開かれました。3年前に東日本大震災のすぐあとに行われたばかりですが24名が参集してくれました。私達同窓生は8クラスあり、それぞれ同窓会を行っていているようですが、毎年開催しているクラスもあるようです。

本来ならば学年全体の動向を皆さん待ち望んでいるのではないかと思いますので、私の知る限りで動向を伝えたいと考えます。ゴルフの同好会である月式会や珊瑚会は盛況ですが、地味ながら個々の動向

はなかなかつかみきれません。それでもいくつか知るかぎりお知らせしたいと思います。生徒会長だった林亨君は外務省退職後イスラム圏に赴任することが多かった経験を生かしアラビア語の指導に携わっているし、同じく本部役員だった林英光君は我々が浮かれて参加した修学旅行に行かず絵画の創作に没頭して作品が日展に入選されたと聞きました。D組の並木君は事業に成功して、最盛期に母校の小学校のプール建設に多額の寄付をされたようです。飯島(川内)恵美子さんは、現職の匝瑳市教育委員長として女性ながら地域の教育行政に在職時の経験を生かし貢献しています。今進行中の90周年記念事業の募金活動には、僧職の多忙な身ながら学年委員長として取りまとめに奔走している土川君や、その事務方として仕切っている塩崎君など結構多くの同輩が活躍されているなど感心する次第です。伝統ある匝瑳高校が地方の良さを生かしつつ、未来ある多くの生徒を輩出することを願ってやみません。

### ▲ 高8回同期会 ▼

恒例となった同期会は東京支部、千葉支部、地元と順番に会場を変えて開催しております。今年は地元幹事の骨折りで十月一日(火)成田ビューホテルで五十三名の出席で開会しました。始めに故人となつた同期生の方々の冥福を祈って黙祷を捧げました。

井上洋一会長の挨拶がありその中で六十年前は私達は匝瑳高の一年生でありました。もう六十年が経過したということですが、三年生の時は創立三十周年記念行事があり、その時、新しい校歌がつくられ、初めて歌つた等、有意義な話がありました。

又東京支部幹事長の伊藤郁さんより、来年の同期会は、喜寿のお祝いをおかねて一泊の宿泊の同期会はどうでしょうかと提案がありました。そして「銚子」に宿泊と決まりました。今から予定に入れておいて頂きぜひ参加して欲しいと説明がありました。そして欠席返信に「体調不良」と記入の人も多数おりました。一日も早い回復を祈ります。

近況を語り合い、話もはずみ賑やかに盛り上がり、二次会も含めて五時間と長い時間を共有し、再会を約束して閉会となりました。

綿貫ひろ子(高8)

### ▲ 高10回卒C組クラス会 ▼

十月六日七日と龍之介ゆかりの宿「一宮館」へ、二年ぶりに十九名のなつかしい顔が集いました。二年毎の開催ですが、その間早川俊夫君大中紀元君の二名が亡られ、最初に全員で黙祷を捧げました。

皆昔に還り賑やかになり、大いに盛り上がり楽しいひとときを過しました。更に二次会では雰囲気を変えカラオケをやり、デュエットしたりのど自慢です。七十歳半ばになると、体が優れない方も出て来ますが、出席された方は、生



高10回C組クラス会参加者

涯現役の方、悠々自適の方、皆元氣ハツラツでした。

翌日は幹事延里さんの案内で、「玉前神社」「笠森観音」をめぐるりました。高校の時クラスで来てから三度目ですが、なつかしく、金木犀の香る静かな森。ほととぎすなど秋の野草を見ながら散策し、名木三本杉根がつかつている(を見上げれば)古代へ思いを馳せました。

成毛先生が都合で出席されず残念でした。皆さんは再会を約束して解散しました。

田守 薫(高10)



# 高22回同窓会



22回同窓会での歓談風景

鮮やかな色彩を楽しむ季節の花、紫陽花が彩る頃を間近にした五月二十五日に、旧友との思い出を巡らすひとときを過ごす「高校第二十二回卒業生同窓会」を成田ビューホテルを会場に開催しました。集う仲間は還暦を過ぎ、卒業して四十余年を重ねて、懐かしい同窓の姿に笑顔が溢れました。お互いに差し出す手を握り合い、身近なあれこれを語る言葉とやんちゃな時代

の思い出話が飛び交いました。同期全体での同窓会は実に二十二年ぶりで二回目の開催になりました。(前面は平成四年十月)。当日は、恩師である小関恒夫先生、川内(飯島)恵美子先生、古村義行先生をお迎えし、同窓生を含め百十四名の出席の中行われました。会場内には大川浩一君(H組)が、セレクトしたBGMが流れ、開会までの雰囲気を出しました。江波戸修君(D組)の流暢な司会で進められ、開会に先立ち、ご逝去された、恩師の先生方と同窓生の御霊に哀悼の意を込め黙祷を捧げました。開会が萩原承平君(B組)から宣言され、幹事代表の宇野健一君(A組)より、開催の趣旨、先生方へのお礼、母校同窓会活動への協力依頼、本日同窓会を楽しもうの旨の挨拶があり、その後、それぞれの先生方からお言葉を頂きました。その際、川内先生からの「そ

れは無し」の両手での×印を無視(?)して、匝瑛市教育委員長要職にあることを披露するなど笑いを誘う場面がありました。先生方にはクラス代表から花束と記念品が贈られ、クラスの自席へ着席を頂きました。そして、依頼事項として、二十六年同窓会長候補者として宇野健一君を推薦したい旨の承認と母校創立九十周年記念事業への協力を志賀君(G組)から行いました。続いて、同窓会長候補者の宇野君から二十二回卒業生全員からの協力をお願いしました。さて、ここから昼食を兼ねた時間になり、乾杯の発声を石井秀光君(E組)が行い、歓談と会食が始まりました。語り、酌み交わす歓談はいつしかクラスを越えて仲間との絆を深め、若き十代へ戻っての語らいは、いつまでも続きました。歓談で盛り上がった中、クラス毎の記念撮影が行われ、カメラへの笑顔は格別のものがありました。宴が進む中、林(土屋)利貞君(G組)のエールが会場内に響き、新行内正勝君(E組)のリー



絆が深まった22回同窓会

ドで校歌斉唱「桜花……」が行われ、葛の校舎が浮かんできました。楽しい時間は過ぎ、いよいよ最後に加瀬貞明君(C組)から、先生方、同窓生全員のご健勝とご活躍を祈

念しながら、三本締めで中締めが行われ、和やかな内に進められた青春に戻った時間を閉じました。この後、クラス別会に分かれた会場では更に絆を深め合いました。今回の同窓会で、先生方の元気なお姿を拝見し、また、同窓生の変わらぬ繋がりに触れ合い、「開催してよかった」の思いが込み上げ、今後この絆を大切にして行きたいと確認できました。最後に、ご臨席を賜りました先生方や出席された同窓の皆様さん、ご協力を頂いた幹事の方々に感謝申し上げます。志賀 正義(高22)

## 読まれる同窓会報を「さふさ」検討委員会発足

10月7日、匝瑛高等学校西城館にて同窓会「さふさ」検討委員会が行われました。

上野敬蔵委員長(高21)、大木雅行副委員長(高22)を中心に検討を行い、①発行時期・回数(現行は6月、12月)の検討 ②ホームページの活用 ③若手編集員の増員について話し合いました。

また、会報の内容についても「各年代に向けたニュースを盛り込む」「校内のニュースを盛り込む」など忌憚りの無い意見が出されました。

なお、上記をふまえ、今回の第47号からは、以前の編集委員に加え、高25卒～高39卒までの若手(?)編集委員が新規に編集作業に関わりました(編集者は最終ページの名簿をご覧ください)。

# 進学指導重点校に指定されて

全日制教頭 加瀬 健司

## 進学指導重点校

匝瑳高校は平成25年度より、千葉県教育委員会から進学指導重点校に指定されました。従来から進学指導については、本校にとつては最重要項目として取り組んできましたが、今回の指定を受けて、すべての教育活動を再点検し、さらなる進学指導の充実に向けて取り組んでいきます。

## 現在の取り組み

現在行っている教育課程上の取り組みとして、授業時数の確保のための①二学期制の導入②7時限授業の実施です。第1学年週3日(月・水・木)、第2学年週2日(月・木)、第3学年週1日(木)の7時限授業を実施し、授業時数の確保に努めています。

## 生徒のニーズに応じた指導

習熟度別授業・少人数授業・選択制授業を生徒の状況

や教科の特性に応じて実施し、生徒のニーズに応じたきめ細やかな指導を実施しています。

生徒の進学希望に対応して古典講読、数学B、オーラルコミュニケーションI、音楽III、美術III、書道IIIなどの横断的な選択科目も設定しています。

## A L Tを活用した授業

本校はA L Tが2名常駐していますので第1、2学年全クラスに週1時間A L TとのT T(ティームティーチング、リスニング能力の向上)を実施しています。第1、2学年英語科ではA L Tが朝のS H R前に5分間の英単語・英会話授業(語彙力をつける)第1学年英語科では英語で日記を毎日書かせ、添削指導(書く能力の向上)や英語で毎日1人ずつスピーチ(話す能力の向上)などを行っています。その他に英語科では英語のみで2日間生活する英語キャンプや理科では1泊2日で野外学習等を行うサイエンスツ

ア1、科学館等で科学的視野を広めるサイエンスツアーIIなどを実施しています。

## 勉強習慣をつける

校内での実力テストは全員参加が1、2年生は年3回、3年生は年2回実施、その他に進路希望別に適宜行い、外部の模試の紹介・奨励も全体及び個別に行っています。

年間を通しての課外講習は32講座(内12講座が早朝講習、2講座が土日曜講習)、夏季講習が44講座(延べ1400名以上が受講)、その他に夏



茨城県での勉強合宿

休みには茨城県や箱根に行つて3泊4日の勉強合宿も希望者に実施し勉強の仕方を教え、勉強習慣をつけさせています。

## プロジェクトチームの立ち上げ

現在、学力向上プロジェクトチームを立ち上げ、すべての教育活動を再点検していま

す。改善すべき点も数多く上がっているところですが、同窓生の皆様にも支部総会や各種会合で、貴重なご意見をいただいておりますので、それらを参考にさせていただきながら、できることから始める姿勢で、スピード感を持って改善を進めさせていただきたいと考えています。

## 海外理解促進のための講演会 平成25年度グローバル人材プロジェクト事業

外務省大臣官房文化交流・海外広報課外務事務官 塚田裕美さん(高50・英語科4期生)を講師に迎え、「外交と

めて理解を深め主体的に国際社会に参画する事の必要性を、生徒たちに熱く語りかけました。

いう仕事と世界の中の日本」を演題に講演会が行われました。平成25年11月1日(金)の午後、体育館に全校生徒を集めて行われた講演会で塚田さんは、自身の外務事務官の仕事を通して得た知識や感じたことや、他国への興味・関心を高



講演する塚田裕美さん

# 第21代 匠瑛高校同窓会長 井橋力さん逝去のご冥福を祈る

匠瑛いちんなな会

松井 安俊(中19・20)

(元旭、銚子、匠瑛小学校長)

平成二十五年四月十四日、井橋力さんの葬儀が八日市場松半斎場でしめやかに行われました。飾られた生前のおだやかな色白の顔写真を見ると、在りし日のさまざまな想いがよみがえり、大切な友を失った悲しみがこみあげてきました。

昭和十七年、校庭のサクラ満開の四月、私達二百人は県立匠瑛中学校に入学し八日市場町田町の井橋医院から井橋力さんも入学してきました。

すでに太平洋戦争(当時は大東亜戦争といった)が勃発、緊迫した社会情勢の中でした。カーキ色の国民服にゲートル、地下足袋、戦闘帽子姿に統一された服装で、配属将校のきびしい叱咤におびえながら軍事教練があり、戦勝祈願に近くの神社参拝や御真影奉拝、銃剣道の寒稽古も日課でした。

さらには出征家庭の農事援助、修練道場の作業、下志津や横芝から干潟の飛行場建設作業もあり、四年生になると銚子の工場で特攻艇(まる四艇)製造の手伝いもし、学校で落ち着いて学業に励むことが少なくなりました。

井橋力さんは色白の顔立ちでどこか泰然として、空襲警報のサイレンが鳴ってもあわてふためくこともみられませんでした。

終戦後、大学に進まれ井橋産婦人科を開業しました。ここで多くの出産を助け、私たち同級生の子もお世話になりました。産婦人科医師としての地域の信頼は厚いものでありました。

そして平成4年、匠瑛高校同窓会長に推薦され、母校の教育環境整備や同窓生相互の親睦交流に力を尽くしました。

また、八日市場ロータリークラブ会長や、八日市場匠瑛

医師会長などにも推挙されて地域社会の発展に努力されました。

私たち同級生二百人は、きびしい戦争の中で培われた友情を永遠にと「匠瑛いちんなな会」を結成して四十年間、毎年欠かさず同窓会を開催し、年間四回会報を発行して友情を温めてきました。

井橋力さんは「匠瑛いちんなな会」の会長を一貫して続け、会員の不幸はもとより、同級生の社会貢献を励まし援助されてきました。

深酒もせず、カラオケもせず、趣味はゴルフと旅行ぐらい、三人の子を医師に育て、おちついた生活を送って来られました。不幸に一月、出先で倒れ、旭中央病院での手厚い治療と夫人の献身的看護にもかかわらず、サクラ散る四月半ばに八十三年の生涯を閉じられました。

同級生一同、悲報を聞いて驚きましたが、いずれは泉下でまた同窓会をとさびしく見送りました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## お悔やみ申し上げます

ご遺族もしくは関係者から事務局にご連絡いただいた方です。個人情報保護のため、今回から住所の記載を中止しました。(平成25年10月31日受付分まで)

### 《会員訃報》

- |                |               |               |              |
|----------------|---------------|---------------|--------------|
| 来栖 浩さん(中5)     | 平成24年3月21日逝去  | 勝俣 寅生さん(高8)   | 平成25年5月14日逝去 |
| 竹内 三郎さん(中6)    | 平成25年10月30日逝去 | 宇井 徹夫さん(高9)   | 平成24年11月逝去   |
| 実川 伸治さん(中15)   | 平成25年7月10日逝去  | 加瀬 浩己さん(高9)   | 平成23年3月7日逝去  |
| 大木 克一さん(中17)   | 平成25年9月28日逝去  | 高木 庄寿さん(高9)   | 平成24年11月逝去   |
| 大木 昭二さん(中17)   | 平成25年6月10日逝去  | 佐久間 静さん(高10)  | 平成25年8月7日逝去  |
| 井橋 力さん(中19・20) | 平成25年4月11日逝去  | 大中 紀元さん(高10)  | 平成25年8月6日逝去  |
| 川島 六郎さん(中21)   | 平成25年10月12日逝去 | 土屋 忠利さん(高12)  | 平成25年逝去      |
| 林 義夫さん(中21)    | 平成25年8月21日逝去  | 山田 とよ子さん(高12) | 平成25年2月25日逝去 |
| 平野 幸男さん(中21)   | 平成25年10月17日逝去 | 石毛 軍治さん(高15)  | 平成24年10月逝去   |
| 篠塚 昭さん(高2)     | 平成25年7月29日逝去  | 小関 健一さん(高15)  | 平成25年2月逝去    |
| 萩原 庄一さん(高3)    | 平成25年6月23日逝去  | 平山 三雄さん(高15)  | 平成22年6月15日逝去 |
| 香取 貞夫さん(高4)    | 平成23年2月2日逝去   | 今井 昇さん(高38)   | 平成25年4月逝去    |
| 椿 浩さん(高6)      | 平成25年6月20日逝去  | 齋藤 由紀子さん(高38) | 平成23年5月17日逝去 |



### ★おめでとうございます★

- ◆秋の叙勲 瑞宝双光章  
江波戸 寛さん (高9回)
- ◆瑞宝小綬章  
日下 英義さん (高12回)
- ◆仁科記念賞  
小林 富雄 東京大教授  
(高20回)

### 会費納入者は2割 同窓会運営がピンチ

創立90周年を迎える「匠瑛高校同窓会」。「さふさ」の発行、学校支援等の事業は、2万人を超える卒業生の会費で賄われています。しかし、約1万6千人の皆様からは会費納入が全く無く、その運営がピンチとなっております。

そこで、あらゆる層から親しまれる同窓会をめざし「さふさ」と「HP（ホームページ）」の刷新を行うことになりました。

まず、「読まれるさふさ」の編集を行い、発行を年1回、12月に限定。さらに、HPを毎月1回更新し、話題・出来事・同期会だよりなど、気軽に情報交換できるサイトに「カイゼン」します。また、会費の振込書もHPから印刷できるようになります。

会費の受付は1千円からです。まだ1度も納入されていない皆様、思い出詰まった母校発展へご協力をお願いします。

### 終身会費納入者

※平成25年4月10日から  
10月10日受付まで

- |              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| (併中1回) 小泉 冽  | (高17回) 石井 希一 | (高23回) 石井 希一 | (高38回) 久本 修  |
| (高3回) 小林 広道  | (高19回) 土屋 平一 | (高24回) 小林 康弘 | (高40回) 鈴木 敦子 |
| 永藤 和之        | 鈴木 孝一        | 加瀬 寿一        | (高41回) 鈴木 敦子 |
| (高7回) 成澤 澄子  | 本間 重喜        | 三ノ宮 廣        | 佐久間俊成        |
| (高8回) 加瀬 進   | 大矢ちづ子        | 白鳥美津江        | (高46回) 石毛 英広 |
| (高13回) 石井 昭  | 山本てい子        | 内田 和子        | (高10回) 白鳥 正樹 |
| 小西 昭夫        | 山崎 越雄        | 勝股 稔         | (高11回) 細田 昌江 |
| 椎名 孝嗣        | 加瀬 善一        | 押尾 幹         | (高12回) 高野寿美子 |
| 平山 邦子        | 小島 仁         | 山崎 功         | (高13回) 南部 征士 |
| (高15回) 三谷 教子 | (高22回) 赤松 利通 | 鶴野 保夫        | (高13回) 椎名美知子 |
| 遠藤 和子        | (高22回) 赤松 利通 | 金子 力         | 加瀬 秀夫        |
| (高16回) 渡辺真佐子 | (高22回) 赤松 利通 | 美恵子          | 実川 操         |
|              |              | 高山 豊         | 平山 正         |

### 年会費納入者

※平成25年4月10日から  
10月10日受付まで  
※名前の下の数字は納入して  
いただいた年数を示します。

- |               |              |              |               |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 菅谷 良民         | (高16回) 岩澤 公恵 | 加瀬 次郎        | (高26回) 毛利(秋山) |
| 伊藤 進          | (高16回) 小作 勝利 | 川口 光博        | 伊藤 正代         |
| (高10回) 細田 昌江  | 佐藤 雪枝        | 齊藤三枝子        | 岩崎 傳一         |
| (高11回) 平山 松夫  | 鈴木 克美        | 小林千代子        | (高28回) 高橋 雅行  |
| (高17回) 伊藤 久夫  | 佐久間清二        | (高21回) 岩井 房子 | (高29回) 押田 明裕  |
| 大木 行男         | 佐藤 修一        | 石島 隆         | 宮應 芳男         |
| 佐野 幸子         | 喜来 和子        | 岩井 充         | (高30回) 田谷 明子  |
| (定夜11回) 徳元 国子 | 石井 秀光        | 鈴木 克美        | 高橋 孝一         |
| (高18回) 太田 乾   | 大木 雅行        | 岩井 充         | (高31回) 高橋 孝一  |
| 新行内賢一         | 須合陽一郎        | 岩井 充         | 深津 清美         |
| 林 一夫          | 須合陽一郎        | 岩井 充         | (高32回) 日下部まり子 |
| (高24回) 掛川 泰宏  | 須合陽一郎        | 岩井 充         | 菅生 讓二         |
| (高25回) 向後喜美子  | 須合陽一郎        | 岩井 充         | (高33回) 豊田 結花  |
|               | 須合陽一郎        | 岩井 充         | 加瀬 仁          |
|               | 須合陽一郎        | 岩井 充         | (高39回) 山崎 祐哉  |
|               | 須合陽一郎        | 岩井 充         | 捧 有佳          |
|               | 須合陽一郎        | 岩井 充         | 澁谷 未希         |
|               | 須合陽一郎        | 岩井 充         | (高60回) 平野百合子  |

### 《第47号編集委員》

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 馬淵 英夫 (高10) | 林 潤 (事務局/高38)  |
| 平山 武彦 (高7)  | 渡邊 順一 (会長/高21) |
| 綿貫ひろ子 (高8)  |                |
| 米本 雅男 (高10) |                |
| 富澤 汎子 (高11) |                |
| 川口 克己 (高15) |                |
| 林 勝美 (高26)  |                |
| 塚本 貢市 (高30) |                |
| 高橋 康二 (高31) |                |
| 武田 英樹 (高32) |                |
| 小泉 泰孝 (高39) |                |

編集委員の米本雅男さん(高10)が、宮崎市で開催された「全日本教職員バドミントン選手権大会・男子70歳以上複」で優勝し、愛媛、長野、宮崎と三連覇を果たされました。

### 編集後記

今回47号については、林勝美君、塚本貢市君、高橋康二君、武田英樹君、小泉泰孝君の協力がありました。原稿の割付等、面倒な部分を担当していただきました。有難うございました。